

農地中間管理事業を使って良かったという農家の声

～平成27年11～12月の出し手、受け手のアンケート結果などから～

◎ 機構への農地の貸し手(出し手)

- 1 貸したいと思っても借り手が分からないから、機構（市町村）が中に入ることで安心できた。
- 2 親や主人が亡くなり耕作出来なくなった時に、機構が間に入って、借りる人を見つけてくれたことで非常に助かった。
- 3 高齢、病気のため、中間管理事業を利用してよかった。
- 4 納得のいく賃料（小作料）で貸すことが出来た。
- 5 確実に賃料（小作料）が入ってくるので安心。
- 6 公的機関なので安心して貸すことができた。
- 7 個人で貸し借りするより、安心して貸すことができた。
- 8 面倒な書類は機構（市町村）が作成してくれた。
- 9 耕作が出来なくなったときに利用できて、ほっとした。
- 10 協力金も頂き、感謝も安心もしている。

◎ 機構からの農地の借受者(受け手)

- 1 農地集積で、機械、施設の効率・利便性が向上した。
- 2 利用してみると非常に良い事業の仕組みだ。
- 3 集落の活性化と農地の維持に役立つ事業だ。
- 4 現在耕作中の隣を耕作できるのは大きなメリットである。
- 5 小作料のトラブルもなく貸し手の顔が見えない分、作る方は有利である。
- 6 まとまった農地を借りることができて、収益が高まった。
- 7 地域の農地を荒らすことなく守ることができた。
- 8 出し手の農家に、協力金を貰わせることができた。
- 9 面倒な書類を機構（市町村）が作成してくれた。
- 10 借受農地が多くても機構とのみの交渉で楽だ。